

ローヤルニュース

No.149

発行 ローヤル油機株式会社 2006年10月1日

〒979-0202 福島県いわき市四倉町上仁井田字家ノ前 107-4 TEL.0246-32-6657 FAX.0246-32-6658

Eメールアドレス GSP00013@nifty.com

HPアドレス <http://homepage1.nifty.com/loyal/>

【スプレー：3製品のキャンペーン】 住鋳潤滑剤株

キャンペーン期間：2006年10月1日～2006年12月20日

1. ルブリコ420 (潤滑スプレー)：キャンペーン価格¥430 荷姿：1箱=420ml×10本×2箱
2. S Bマルチグリススプレー：キャンペーン価格¥460 荷姿：1箱=420ml×10本×2箱
3. スミクリーン840スプレー (洗浄用) キャンペーン価格¥290 荷姿：1箱=840ml×30本

下館物語 9

祠に頭を下げて石畳の坂を下りてくると、まもなく自転車屋さんの隣にある伯母の家の門が見えてくる。

門には屋根瓦が載せてあったが、古く黒ずんでいた。門扉のレールも大分磨り減ってはいたが、手入れが行き届いていて子供の私でも軽く開け閉めすることが出来た。道路を挟んだ筋向いには豆腐屋さんがあり、そのすこし向こうには八百屋さんもあった。

門の中は、幅一間ほどの通路に踏み石が敷かれその向こうに母屋の玄関があった。

私はレールに乗った引き戸を勢いよく開け、四、五間離れた母屋の玄関に向かって小走りに飛び込んで行く。

「おアちゃん、こんにちは」

伯母に対する呼び方は、いつの間にかいなくなった母に対する呼び方と同じになっていた。私たち兄妹にとって、それは自然な言葉の流れだった。

「いらつしやい、よく来たねえ。暑かったら、ターボの好きな真桑瓜を冷やしておいたよ」

伯母は、穏やかな丸顔ににこやかな

表情を浮かべて私を迎えてくれる。

「うわあ、すげえ。ありがとう、おアちゃん」

真桑瓜は、黄色い落花生型をしていてメロンのような味がしたが、たまにキュウリと変わらないような味のないものもあった。

「ターボ、ところでみんなはどうしたの……」

「ミーコもミツちゃんも、あとから来るよ。お父ちゃんは、重いかつおを持って来たから、ゆっくり歩いてくるって。僕は、駆け足で来たから一等賞なんだ」

「暑いのに、ターボは元気だねえ。冷たい水をお飲み、汗が引くから」

「うん」

私は、台所に行って冷えた井戸水を汲み上げ、コップに入れて一息に飲んだ。

夕方には、ミツちゃんの姉のカホちゃんも高校の課外授業を終えて帰ってきた。そのあいだに、私とミツちゃんは一、二町先にある魚屋さんに行くと、父が重い思いをしながらやっと持ってきた氷付けのかつおを、刺身と切り身に捌いてもらった。

次号に続く。

あとがき

先日いつものごとく、友人のオオスカ君と「下川温泉：田辺旅館 TEL.0246-96-6470」さんに宿泊しました。相変わらず、かつおの刺身（別注文）が旨い。女将と仲居さんがやってきてしばらく歓談す、楽しきなり。二人で、仲良くビール2本を空け早々と就寝。朝6時起床。朝食の後のコーヒーがまた美味しい。1泊2食付：¥6,300 この低料金を100万円も踏み倒す企業人がいる。情けなく、腹立たしい限りです。